

北海道議会時報

第34卷第4号



北海道議会事務局

北海道議会時報第34卷第4号(昭和57年)

(表紙写真説明)

アブラナ(油菜)

アブラナ科の一年草、越年性草本。ナタネ(菜種)ともよばれ、古くから日本で栽培されてきた油料作物であり、また蔬菜としても利用され、花は菜の花とよばれ、切り花としての需要が多く、種子は粒状で黒褐色を呈する。

(写真は北見紋別近郊のもの)

……第4号もくじ……

委員会の動き

議会運営委員会	1
常任委員会	2
特別委員会	8
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
懲罰特別委員会	

会 合

全国都道府県議会議長会	11
都道府県議会議員共済会	11
10都道府県議会議長会	11
北海道・東北6県議会議長会	12

4月・5月・6月のメモ

議 会 日 誌



▶ 4 月

22日(木) }
23日(金) } 決算特別委員会
27日(火) }
28日(水) }

▶ 5 月

4日(火) 商工労働委員会
6日(木) 厚生、農地開発、北方領土対策特別各委員会
7日(金) 農務、建設、文教林務各委員会
10日(月) 水産委員会
11日(火) 議会運営、総務各委員会
12日(水) }
13日(木) } 決算特別委員会
14日(金) }
17日(月) 石炭対策特別委員会
18日(火) }
19日(水) }
21日(金) } 決算特別委員会
25日(火) }
26日(水) }
27日(木) }
28日(金) 懲罰特別委員会

▶ 6 月

1日(火) }
2日(水) } 決算特別委員会
4日(金) }
5日(土) 農地開発委員会
8日(火) 総務、厚生、商工労働、農務、建設、水産、文教林務各委員会
9日(水) 懲罰特別、決算特別各委員会
10日(木) }
11日(金) } 決算特別委員会
15日(火) }
16日(水) }
17日(木) 議会運営、懲罰特別各委員会

委員会の動き

議会運営委員会

○5月11日(火) 午後3時52分、議会運営委員会室において開議、午後4時31分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

○ 総務部長から、工事請負契約の締結に関する専決処分について説明の後、

関根建二委員(社会)から、専決処分により処理する理由、地方自治法第179条の適用部分、議会招集についての判断、予算執行に係る基本的考え方と今後の姿勢

工藤啓二委員(公明)から、専決処分の件数及び金額の増加についての所見、臨時会招集の考え

岩崎守男委員(社会)から、本件についての問題点と今後の改善方

本間喜代人オブザーバー(共産)から、専決処分となることの原因と道の姿勢

和田勝之委員(自民)から、議会の議決に付すべき契約の金額についての他府県の実態調査方について

質疑、意見及び要望があり、総務部長及び財政課長から答弁。委員長から、本件について、今後、地方自治法を十分尊重されたい旨の発言があって、申し出の専決処分について了承。

○6月17日(木) 午後2時10分、議会運営委員会室において開議、午後2時22分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

① 委員長から、5月25日付け、米村邦敏決算特別委員(社会)の辞任許可、樫林巖議員(社会)の補欠選任について報告。

② 第2回定例会の招集期日を6月26日とすることを了承。会期は20日間とすることに決定。

③ 総務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明の後、

岩崎守男委員(社会)から、議員定数条例改正案の提案の見通し、今後の取り扱い方について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁。

④ 第2回定例会の日程について、次のとおり取り進めることに決定。

▽ 第2回定例会日程

6月26日 本会議(提案説明)

6月27日~30日 休会

7月1日・2日 本会議(代表質問)

3日 本会議(一般質問)

4日・5日 休会

6日・7日 本会議(一般質問)

8日 本会議(一般質問、予算・企業会計決算特別委員会設置)

9日~14日 休会

15日 本会議

⑤ 代表質問について、順位は、社会、自民、公明、道政の順とすることとし、会派別発言時間の使用状況について説明。

⑥ 決算特別委員会において前会より継続審査中の報告第2号について、審査終了した旨報告。本件については、招集日当日の本会議において議決する扱いとすることに決定。なお、委員長の口頭報告中の各部所管質疑の主なる項目について、文書配付に改めることを了承。

⑦ 工事請負契約の締結に係る専決処分について了承。

⑧ 小田原要四蔵委員(社会)から、第1回定例会の本会議場における武部勤議員(自民)の不規則発言に係る議長措置に関連し、措置後における同議員の雑誌寄稿記事に対する見解等について発言があり、議長から応答。

常任委員会

総務委員会

○5月11日(火) 午後1時20分、第5委員会室
において開議、午後3時38分
散会
委員長 青山 正男(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した浦河沖地震災害に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、道外における行財政等事情調査並びに地震予知特定観測地域の指定に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 総務部長から、工事請負契約の締結に関する専決処分について説明の後、
岩崎守男委員(社会)から専決処分に係る地方自治法の規定、緊急性の考え方及び将来の措置について
質疑があり、総務部長から答弁。
- ④ 総務部長から、浦河沖地震の被害及び措置状況について報告の後、
保格博夫委員(社会)から、今後被害額の増すことが予想されるものについて
質疑があり、総務部長から答弁。
- ⑤ 保格博夫委員(社会)から、(1)空き缶の散乱防止対策に関し、空き缶の処理状況、空き缶散乱防止対策検討委員会報告書においてモラルの問題のみを重視し、販売事業者について触れていない理由、デポジット方式を検討する考えの有無、(2)道へ派遣の外務公務員に関し、外務省の特定人でなく各専門部門の人から意見を聞くことの可否、当初の外務省出先機関設置構想の変更の有無、今後の体制、人選についての考えについて
質疑、意見及び要望があり生活環境部長及び総務部長から答弁。
- ⑥ 岩崎守男委員(社会)から、職員の人事に関し、昭和57年度定期人事異動について1、2、3等級職員の異動総数、最近1年間の異

動総人数と赴任旅費の額、平均在職年数と同一行政区域内、外の異動状況、短期間で勤務地替えをする理由、地元住民のニーズにこたえるための基本的な人事異動の方針、単身赴任、同一勤務地在勤年数に対する改善策、高齢化社会に対応する55歳降格制度の改善について
質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。

○6月8日(火) 午後1時13分、第5委員会室
において開議、午後2時40分
散会
委員長 青山 正男(自民)

請願・陳情の審査

陳情

第76号 豊平川アユの会への助成の件
(不採択)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した青少年対策、交通安全対策並びに空港、公園の整備状況等に関する道外調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、さきに実施した浦河周辺の地震予知特定観測地域の指定に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 総務部長から、工事請負契約に係る専決処分について説明。
- ④ 総務部長から、昭和57年浦河沖地震被害状況について報告。
- ⑤ 総務部長から、情報公開に関する調査研究委員会の設置について説明。
- ⑥ 保格博夫委員(社会)から、自衛隊のえりも統合演習に関し、艦船による漁網被害の調査状況、演習に対する見解について
質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。
- ⑦ 岩崎守男委員(社会)から、航空行政に関し、航空運賃決定の基準、道東～東京が九州～東京より割高の理由及びジェット料金の根拠、毎月変更のダイヤの不合理性、直線の安全コースの確保を運輸省、自衛隊へ要請する考えについて

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。

委員長から、当委員会として、関係機関への要請の申し出については理事会にはかり措置する旨発言がありこれを了承。

厚生委員会

○5月6日(木) 午後2時15分、第9委員会室
において開議、午後3時23分
散会
委員長 石山 直行(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した道内調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 関根建二委員(社会)から、国の有料老人家庭奉仕員制度の発足に関し、制度の内容と道の基本的な対応策、老人福祉政策の変化に対する受けとめ、老人の生活実態調査を実施するに当たっての考え、道の老人家庭奉仕員及び介護人制度の実態と考え方、家庭奉仕員の処遇改善の考え、有料制度が実施された場合の道単独事業の取り扱い、市町村が実施している家庭奉仕員制度の問題点に対する対応策について
質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。
- ③ 川崎守委員(共産)から、口唇口蓋裂の歯の矯正に関し、歯の矯正手術のできる保険医療機関数とそのうちの育成医療機関数、地方中核都市でも治療が受けられる対策をとる考えについて
質疑、意見及び要望があり、民生部長及び衛生部長から答弁。

○6月8日(火) 午前10時18分、第9委員会室
において開議、午後2時28分
散会
委員長 石山 直行(自民)

請願・陳情の審査

請願

第134号 難病検診と道立江差病院診療充

実に関する件 (保留)

本件について、衛生部長から説明の後、関根建二委員(社会)から、全道における難病患者数及び医療圏別の分布状況、過疎地における難病患者対策の具体例と今後の方針、難病専門病院設置の考え、難病センター運営の考え、救急医療体制の実態、道立医療機関の役割及び救急医療体制の整備方針、精神障害者の実態及び医療基本計画における社会復帰施設の整備目標年次について(関連して、川崎守委員(共産)から、難病検診を江差で実施する考え、道立江差病院での救急医療実施の可否について)

質疑があり、衛生部長から答弁があつて、保留することに異議なく決定。

第2号 保育所の大量増設と産休あけ保育の実施及び無認可保育所への助成に関する件 (保留)

本件について、民生部長から説明の後、川崎守委員(共産)から、無認可保育所に対する他府県、道内市町村の助成状況及び助成していることに対する見解、保育所設置について国の本道分年間枠、無認可保育所解消の年度別計画の状況、無認可保育所に対する運営費補助について

質疑があり、民生部長から答弁があつて、保留することに異議なく決定。

陳情

第28号 身体障害者使用自動車のガソリン税の道費補助等に関する件 (保留)

本件について、民生部長から説明の後、関根建二委員(社会)から、公共交通機関を利用できない下肢障害、1・2級者の数及びその自動車所有者数、自動車購入のための世帯更生資金及び職安関係貸付金の利用状況、自動車改造費補助事業の実態、重度障害者タクシー料金補助事業の実施状況、自動車の使用者に対する維持経費助成の考えについて(関連して、高田忠雄委員(道政)から、揮発油税と地方道路税の合計額について)

質疑があり、民生部長から答弁があつて、保留することに異議なく決定。

一般議事

- 衛生部長から、公衆浴場入浴料金統制額の改定について報告。

商工労働委員会

- 5月4日(火) 午後1時43分、第8委員会室において開議、午後3時7分散会
委員長 藤井 虎雄(社会)

一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した中小・小規模企業の経営危機打開に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 商工観光部長から、本道における中小工業の業種別振興指針について説明の後、湯田倉治委員(道政)から、振興のための具体策及び全庁的な検討について質疑及び要望があり、商工観光部長から答弁。
- ③ 労働部長から、北海道雇用開発委員会の報告書に関する説明の後、柳谷正一委員(公明)から、地域雇用開発推進会議の内容、開発推進方針策定の目途、地域雇用促進給付金制度の内容、本道6地域の指定促進について(関連して、湯田倉治委員(道政)から、地域指定の時期、産炭地域の指定について)質疑及び要望があり、労働部長から答弁。
- ④ 小田原要四蔵委員(社会)から、北電の電力施設計画に関し、需要想定の根拠、56年度需要想定と実績の相違に対する見解、施設計画変更の考え、過剰設備となった場合の道の対処、C重油の供給過剰の現況下においてこれを使用させる考え、北本送電連携と予備率の考え、原発と揚水発電の係り、共和・泊原発建設を別枠とした電源開発計画の受けとめについて質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

- 6月8日(火) 午前10時37分、第8委員会室において開議、午前10時55分散会

委員長 藤井 虎雄(社会)

一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した道外における商工労働事情調査及び石炭資源開発基礎調査の地元企業の活用に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、季節労働者対策に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 商工観光部長から、液化石油ガス輸入中継・備蓄基地立地可能性調査結果について説明。
- ④ 労働部長から、季節労働者対策について説明。

農務委員会

- 5月7日(金) 午後1時50分、第7委員会室において開議、午後3時30分散会
委員長 若狭 靖(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した農畜産物の輸入自由化・枠拡大阻止に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、道外における農業事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。
- ③ 農務部長から、昭和57年度農作業進捗状況について説明。
- ④ 岡本栄太郎委員(社会)から、(1)農務部農業対策室に関し、今後の対策検討及び北海道農業協同組合中央会企画室との関連、北海道発展計画との係り、将来の農業について対策室の結論を出す時期、(2)てん菜の糖分取引に対する道の対応について質疑及び意見があり、農務部長から答弁。
- ⑤ 神本三也委員(社会)から、北海道寒冷地畑作営農改善資金制度に関し、打切りに伴う道の対応、麦共済の加入の促進、野菜農家の育成対策、農家の健康管理対策について(関連して、渋谷澄夫委員(社会)から、冬野菜

及びかぼちゃの貯蔵に対する公的機関における研究の必要性について)

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

- ⑥ 渋谷澄夫委員(社会)から、農畜産物自由化阻止に関連しての要請について(関連して、岡本栄太郎委員(社会)から、協議の場について)

意見があり、委員長から応答。

- ⑦ 石川十四夫委員(道政)から、三笠のスイカの病気被害対策について

質疑があり、農務部長から答弁。

○6月8日(火) 午後1時28分、第7委員会室において開議、午後3時24分散会

委員長 若狭 靖(自民)

一般議事

- ① 農務部長から、農作物の生育状況について報告。
- ② 委員長から、昭和57年産生産者麦価等に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 岡本栄太郎委員(社会)から、(1)小麦の生産者価格に関し、麦の検査規格の改正内容、価格差補てんの廃止、道産小麦と都府県産小麦の品種比較、(2)今年の生産者米価に関し、各種の農畜産物価格のあり方、米の類別格差拡大への対応策、(3)糖価安定法改正後の輸入糖と国産ビート糖の価格差の拡大について(関連して、渋谷澄夫委員(社会)から、道産麦の評価について、吉野之雄副委員長(社会)から、道産麦の用途について)質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。
- ④ 吉野之雄副委員長(社会)から、原発に関し、岩内町農協と北電との契約についての現状、安全協定の内容について質疑及び要望があり、農務部長から答弁。

建設委員会

○5月7日(金) 午後2時7分、第4委員会室において開議、午後3時13分散会

委員長 笹浪 幸男(自民)

請請・陳情の審査

請願

第69号 道営住宅の敷金還付に関する件 (保留)

第74号 小樽市最上町線道路拡幅に関する件 (保留)

陳情

第3号 小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件 (保留)

第8号 道道小樽港線改良工事の早期完成に関する件 (保留)

第20号 道道臨港線計画の抜本的再検討を求める件 (保留)

第9号 道道小樽定山溪線の通年開通に関する件 (保留)

第13号 道道小樽定山溪線の通年開通に関する件 (保留)

住宅課長、街路公園課長及び道路課長からそれぞれ現況について説明の後、

鈴木誠二委員(社会)から、請願・陳情の処理に関し、早期対応の必要性

萩上元春委員(社会)から、(1)道営住宅の敷金還付の実現、(2)最上町線道路拡幅についての早期結着、(3)道道小樽定山溪線の通年開通に関し、札幌市との協議の経過及び調査の状況について

質疑及び要望があり、土木部長から答弁の後、委員長から、本件について結論を保留することをほかり、異議なく決定。

一般議事

- ① 委員長から、北海道開発審査会委員の選出についてはかり、笹浪幸男委員長(自民)を選出することに決定。
- ② 委員長から、さきを実施した道内建設事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

③ 委員長から、道外における建設事情調査の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

④ 土木部長から、工事請負契約の締結に係る専決処分予定事業について説明の後、萩上元春委員（社会）から専決処分に反対を表明し、落札の経過について報告方要望があった。

⑤ 住宅都市部長から、部出先機関の機構改正について報告。

⑥ 萩上元春委員（社会）から、入札制度検討委員会に関し、検討結果の内容、今年度から改善する内容、入札結果等の公表に係る検討状況及び結論を出す時期等について質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁。

○6月8日（火） 午後1時38分、第4委員会室において開議、午後2時30分散会
委員長 笹浪 幸男（自民）

請願・陳情の審査

陳情

第9号 道道小樽定山溪線の通年開通に関する件（採択）

第13号 道道小樽定山溪線の通年開通に関する件（採択）

一般議事

① 土木部長から、工事請負契約の締結に関する専決処分の経過について報告の後、

萩上元春委員（社会）から、工事請負契約における共同企業体の結成に関し、構成メンバーのあり方及び地元業者に対する配慮

星野健三委員（社会）から、共同企業体の結成の方法について

質疑及び意見があり、土木部長から答弁。

② 勝木省三委員（道政）から、苫小牧港のバース建設に関し、苫小牧港におけるフェリーの運航状況、貨物取扱い高及びシフト状況、シフトバースの建設計画、施設の概要、工事費及び早期着工の考え、フェリー運航上の安全対策、茨城県大洗港とのフェリー航路開設に当たって本道側受け入れ港を室蘭港とする

考え及び室蘭港の施設整備と後背地の道路整備の必要性、中央港湾審議会及び道議会における議論の経緯と現状との関連性について質疑及び意見があり、土木部長から答弁。

③ 土木部長から、スパイクタイヤによる道路の磨耗に関するアンケート調査の結果について報告。

農地開発委員会

○5月6日（木） 午後3時51分、第3委員会室において開議、午後3時58分散会
委員長 伊藤 豪（道政）

一般議事

① 農地開発部長から、昭和57年度道営工事の発注計画について説明。

② 委員長から、道内及び道外における農業基盤整備事業調査の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

○6月5日（土） 午前10時22分、第3委員会室において開議、午前10時47分散会
委員長 伊藤 豪（道政）

一般議事

① 農地開発部長から、浦河沖地震及び融雪災害の被害状況について説明。

② 農地開発部長から、空知支庁東部耕地出張所の出張問題について報告の後、

青木延男委員（社会）から東部出張所の業務実態、道の措置及び行政処分等について質疑、意見があり、農地開発部長から答弁。

③ 委員長から、さきに実施した道内の農業基盤整備事業事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

水産委員会

○5月10日（月） 午後2時8分、第6委員会室において開議、午後2時22分

散会

委員長 新沼 浩（自民）

一 般 議 事

- ① 水産部長から、日ソ漁業交渉の結果について報告。
- ② 水産部長から、自衛隊の統合演習について報告。
- ③ 水産部長から、水産部の一部機構改正について報告。
- ④ 委員長から、さきに実施した水産物の輸入自由化・枠拡大阻止等に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

○6月8日（火） 午後1時19分、第6委員会室
において開議、午後1時32分
散会

委員長 新沼 浩（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した道外の水産事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 水産部長から、貝殻島コンブ漁交渉の妥結の概要について報告。

文 教 林 務 委 員 会

○5月7日（金） 午後2時43分、第10委員会室
において開議、午後5時25分
散会

委員長 中田 繁夫（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、道外における文教林務事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ② 教育長から、工事請負契約の締結に係る専決処分予定事業について説明の後、
熊谷克治委員（社会）から、専決処分予定金額の総額、専決処分のあり方についての検討方
本間喜代人委員（共産）から、工事の早期発注方について

質疑及び要望があり、教育長から答弁。

- ③ 林務部長から、道有林基本計画について説明の後、

米村邦敏委員（社会）から、基本計画の実施に当たっての考え方、前分期(52年～56年)の実行結果及び収穫量減少の理由、前分期計画と今計画との基本的な相違点、人工林の齢級配置の適正化及び伐期齢の考え方、天然林資源の見通しと優良広葉樹育成の取り組み方、今計画において収穫量が減少している理由と立木製品販売収入の積算根拠、企業債増加の理由及び基金の見通し、地場産業の振興対策、レクリエーションの場としての森林の役割

熊谷克治委員（社会）から、資金収支計画に関し、一般会計との繰入れ繰出しの状況、一般会計から繰入れする考え

本間喜代人委員（共産）から、前分期における基金繰入れの状況及び今計画の後期に基金繰入れの計画がない理由について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁。

- ④ 熊谷克治委員（社会）から、(1)教員採用に関し、人材確保の面から採用内定時期を早める考え、(2)管理職登用の選考方法改善の考え方及び改善に当たって、指導力等を重視する考え、(3)5月1日指定統計の結果により実施している学級再編制を改善する考え及び児童生徒数の異動についての弾力的運用の検討方

本間喜代人委員（共産）から、自衛隊員募集に関し、高校の進路指導担当教師に対する募集活動の実態とその対応策及び隊員募集に関する文書の是正について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。

○6月8日（火） 午後1時20分、第10委員会室
において開議、午後3時散会
委員長 中田 繁夫（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した道外における文教林務事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 教育長から、工事請負契約の締結に関する

専決処分経過について報告の後、

本間喜代人委員（共産）から、札幌市白石区高校（仮称）の土地利用に関し、野球場とサッカー場の一部重複などの問題点と対策について

質疑及び意見があり、教育長から答弁。

- ③ 吉田英治委員（社会）から、森林の荒廃防止に関し、森林の所有者別状況、民有林の森林施業の実態及び伐採量増加の原因、林業改良指導員の役割と機能強化の必要性、不在地主所有森林の荒廃の実態と対応策

本間喜代人委員（共産）から、(1)近代美術館観覧料の減免規定に関し、特別展における身体障害者等の減免適用に対する見解、(2)カラマツ材の需要拡大に関し、輸入木製品等の関税引下げによる国内林業への影響、用途拡大、生産、流通及び利用体制の整備、間伐補助制度の改善、道の事業等に係るカラマツ材の使用状況、カラマツ利用推進協議会を各支庁に設置する考えについて

質疑、意見及び要望があり、林務部長及び教育長から答弁。

特別委員会

石炭対策特別委員会

○5月17日（月） 午後1時17分、第8委員会室
において開議、午後2時58分
散会

委員長 宇川 源吉（自民）

- ① 委員長から、さき実施した石炭鉱業の長期安定、夕張新炭鉱再建及び電力用納炭枠の拡大に関する中央折衝並びに北炭夕張新炭鉱の災害に係る殉職者の合同葬出席の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、石炭鉱業振興に関する道外調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 商工観光部長から、北炭夕張新炭鉱の災害に係るその後の状況等の報告の後、

石川十四夫委員（道政）から、生産可能な残炭量の見通し、平安八尺層の開発についての見解、北部第4の事故原因の究明と生産計画、安全性に対する認識、再開発について関係者に対する働きかけ、露頭炭の開発に対する見解

湯田倉治委員（道政）から、(1)平安八尺層の残炭量について石炭協会と夕張新炭鉱の発表との相違、残炭量の把握状況、残炭量と平安八尺層の開発期間の係り、管財人代理の辞意表明後の状況、(2)北炭幌内炭鉱の経営に関し、債権の内容、北部開発計画に対する見解、再建計画の進捗状況

（関連して、岩崎守男委員（社会）から、再建計画と道の係りについて）

藤井虎雄委員（社会）から、夕張新炭鉱の会社更生決定が出た場合において幌内・真谷地炭鉱への波及防止について国からの要請と道の対応、露天掘の基本的な考え方、炭価引き上げに対する積極的な取り組み方、国鉄廃止対象路線の産炭地関連線を守るために関係機関への働きかけについて

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長及び石炭対策本部事務局次長から答弁。

めることについてはかり、異議なく決定。

北方領土対策特別委員会

○5月6日(木) 午後3時35分、第4委員会室
において開議、午後3時44分
散会

委員長 小沢 栄吉(自民)

- ① 領対本部長から、昭和57年度北方領土復帰
対策事業について報告。
- ② 領対本部長から、総理府総務長官の北方領
土の視察について説明の後、
委員長から、本件に対する委員の派遣につ
いてはかり、異議なく決定。派遣委員等につ
いては、委員長に一任することとした。

懲罰特別委員会

○5月28日(金) 午後1時53分、第4委員会室
において開議、午後2時40分
散会

委員長 西尾 六七(自民)

付託案件の審査

- ① 懲罰動議を議題とし、質疑を続行、
高田忠雄委員(道政)から、小野秀夫議員
(道政)の発言が懲罰対象となると解する法
的根拠、小野議員の発言に対する議長への措
置要求と懲罰動議との関連等について
湯田倉治委員(道政)から、懲罰動議の提
出に至る経過と議長裁定案の取り扱いに関す
る事実関係等について
高橋鉦委員(公明)から、小野議員の発言
に係る措置要求の処理経過と懲罰動議提出と
の関連等について
質疑があり、保格博夫委員(社会)から答弁。
高田忠雄委員(道政)から措置要求に対する
議長裁定案の提示とその後の経過について発
言、湯田倉治委員(道政)から議長裁定案提
示等に関する事実確認の必要性について意見
があり、委員長から応答し、懲罰動議に対す
る質疑を終結。
- ② 委員長から、小野秀夫議員(道政)の一身
上の弁明を聴取するため本委員会に出席を求

○6月9日(水) 午前10時47分、第4委員会室
において開議、午前11時4分
散会

委員長 西尾 六七(自民)

付託案件の審査

- ① 懲罰動議を議題とし、
委員長から、3月26日及び27日における議
長措置経過に係る事実確認の結果を報告の
後、高橋鉦委員(公明)から、委員長の報告
と動議提出者の発言とのそご及び発言訂正の
措置を委員長において行う考えについて発言
があり、委員長から応答。
- ② 小野秀夫議員(道政)から、懲罰動議に対
する一身上の弁明を聴取の後、
委員長から、弁明者に対する質疑の取り扱
いについてはかり、保格博夫委員(社会)、
小笠原孝委員(自民)から発言があり、次回
委員会において質疑を行うため、小野秀夫議
員(道政)の出席を求めることに決定。

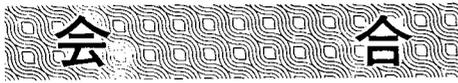
○6月17日(木) 午前11時6分、第4委員会室
において開議、午後3時38分
散会

委員長 西尾 六七(自民)

付託案件の審査

- 懲罰動議を議題とし、小野秀夫議員(道政)
の一身上の弁明に対する質疑に入り、
輪島幸雄委員(社会)から、商工労働委員
会の共和・泊原発に係る請願の取り扱いと事
実経過の確認方法、理事会における請願の審
議促進の発言と「遺憾ながら意見の一致を見
ず」との発言との関連、「私どもが引き延ば
してきたものでない」との発言の真意
保格博夫委員(社会)から、措置要求に関
連して議長が提示した文案と小野議員が確認
した事実関係との関連
岩崎守男委員(社会)から、小野議員の討
論中、商工労働委員会の請願の取り扱いに言
及した意図等について
質疑があり、小野秀夫議員(道政)から答弁、
湯田倉治委員(道政)及び高橋鉦委員(公
明)から、一身上の弁明に対する質疑のあり

方等について発言、委員長から応答があって一身上の弁明に対する質疑を終結。議事進行の都合により、午後零時29分休憩、午後3時37分再開し、直ちに散会。



全国都道府県議会議長会

○4月9日(金) 全議会議室において役員会を開催。会長(広島県議長)のあいさつの後、協議に入り、全議事務総長から、昭和57年度本会行事計画案について説明があり、新潟県議長(関東ブロック理事県)から、5月25日開催予定の役員会について茨城県開催を申し入れた経緯等について発言の後、原案のとおり決定した。次いで、全議事務総長から、行政改革問題に関し、現在までの臨時行政調査会の動き、自治省、地方6団体の今後の対応及び今後の推移について報告の後、岐阜県議長から、地方選の統一に関する現在までの推移について質問があり、全議事務総長から応答があって、閉会した。

○5月25日(火) 茨城県科学技術庁研究交流センター国際会議室において、役員会を開催。会長(広島県議長)のあいさつに引き続き、地元議長及び知事のあいさつの後、住宅都市整備公団研究学園都市開発局長から筑波研究学園都市の概要について、茨城県国際博協力局長から科学万博の準備状況について、それぞれ説明の後、協議に入り、まず欠員中の副会長の補欠選任について、欠員を生じたブロックから推せんされた者を明26日の臨時総会において、総会議長の指名により選任することとした。次に、全議事務総長から、地方議会議員の選挙期日の統一等について、自民党選挙制度調査会から地方6団体に対し意見を求められたこと並びに本件の取扱いについて、副会長の意見を聴取し、東京都議長から本会の意見を開陳した旨述べ、これを了承。ついで、全議事務総長から臨時行政調査会の動向について説明の後、閉会した。

○5月26日(火) 都道府県会館別館において臨時総会を開催。会長(広島県議長)のあいさつの後、協議に入り、欠員中の副会長に議長指名のとおり、岐阜県及び岡山県議長をそれぞれ選任の後、閉会した。

都道府県議会議員共済会

○5月25日(火) 茨城県科学技術庁研究交流センター第1会議室において理事会を開催。会長(広島県議長)のあいさつに引き続き、協議に入り、代議員会の運営方法及び昭和56年度決算報告について了承の後、監事の選任及び地方議会議員の年金制度改善に関する要望(案)についてそれぞれ協議の後、閉会した。

○5月26日(水) 都道府県会館別館において代議員会を開催。会長(広島県議長)のあいさつの後、議事に入り、まず、会期を本日限りとし、次いで、会議録署名者を決定の後、昭和56年度本会決算について、全議事務総長から、内容説明並びに監事から監査結果報告があり、異議なく認定。次に任期満了に伴う監事の選任について、代議員の監事は中国ブロック推せんの山口県議長の選任及び学識経験者の山口敏之氏の再任を決定。次に、議長から、地方議会議員の年金制度改善に関する要望書の決定について発言の後、全議事務総長から、地方議会議員共済年金制度について過去の経緯と現状について説明があって、閉会した。

10都道府県議会議長会(第127回)

○5月7日(金) 愛知県名古屋市において開催。地元愛知県議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選任し、協議に入り、まず、東京都議長から、前回議決事項の処理結果について報告の後、次の事項について順次協議、決定した。次に、東京都議長から、昭和56年度本会経常決算報告を行い、これを了承。次に全議事務総長から、第96通常国会提出法案及び審議状況等について説明の後、次回開催地を京都府に決定して、閉会した。

- 1 高齢化社会にむけての総合的後保障の確立について
- 2 特殊建築物防災対策の強化について
- 3 覚せい剤等の追放について

- 4 大量輸送機関の安全運行確保について
- 5 地方事務官制度の廃止と行政の地方移管について
- 6 農産物の輸入自由化及び枠拡大の阻止について
- 7 交通事故防止対策の強化について

北海道・東北6県議会議長会（第62回）

○6月14日（月）札幌市において開催。地元北海道議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、議事に入り、岩手県議長から、前回議決事項の処理結果報告の後、次の事項について順次協議、決定し、議決事項の処理方法について、議案第1号を除く12議案は、政府関係機関に陳情することとし、引き続き、次回開催地を秋田県に決定。次いで、全議事務局次長から、最近の中央情勢などについて説明があり、閉会した。

- 1 地方議会議員及び首長選挙の公営拡充について（継続審査）
- 2 地方財政対策の強化について
- 3 高齢化社会にむけての総合的老後保障の確立について
- 4 地熱資源の開発促進について
- 5 電源地域振興のための特別措置法の制定について
- 6 東北地方開発整備事業の強力な推進について
- 7 東北新幹線、北海道新幹線及び青函トンネルの建設促進について
- 8 新幹線対応国鉄在来線の整備促進について
- 9 高速自動車道の早期建設について
- 10 農業基本政策の充実強化について
- 11 水田利用再編対策の改善充実について
- 12 林材業の不況対策について
- 13 北海道開発庁及び北海道・東北開発公庫の存続について

4 月 の メ モ

- 1日 ○国土庁、57年度地価公示価格（1月1日現在）を公示。全国平均で上昇率7.4%（前年同期9.6%）。
- 2日 ○アルゼンチン政府、英国領フォークランド諸島の占領を発表。英国政府は、外交断絶を宣言し、機動部隊に出動を命令（2・3日）。
- 第1回定例道議会閉会。
- 5日 ○参院本会議、57年度予算を可決、成立。一般会計予算は49兆6,808億円、財政投融资計画は20兆2,888億円。
- キャリントン英国外相、フォークランド諸島紛争に関連し辞任。後任にフランシス・ピム氏。
- 6日 ○運輸審議会、国鉄運賃値上げ（平均6.1%）を運輸相に答申。11日認可、20日から実施。
- 9日 ○閣議、56年度農業白書を了承。農産物の自由化については消極的姿勢を打ち出す。
- 共和・泊原発に係る共和町長に対するリコール署名、有権者の3分の1に達せず不成立。
- 10日 ○夕張市、清水沢体育館で北炭夕張新鉱災被害犠牲者の合同葬が行われた。
- 13日 ○私鉄大手、国労・動労など公労協の統一スト回避。交通ストなし賃金紛争の収拾は春闘初。道内の私バスなど一部はスト突入。（～14日）
- 最高裁、ホテルオークラ労組の「勤務中のリボン闘争」の上告審で「正当組合活動とは認められない」との判決を言い渡した。
- 14日 ○フランスのミッテラン大統領来日。同国元首の日本公式訪問は初めて。（～18日）
- 宗谷管内浜頓別町クッチャロ湖畔でショウジョウバエの一種採取。国内初の発見。
- 19日 ○帯広市長選挙、現職の田本憲吾氏当選（3選）。
- 20日 ○道、「56年度版道民生活白書」を発表。
- 22日 ○日ソ、サケ・マス交渉妥結。漁獲割当量は4万2,500トン（5年連続）、漁業協力費は40億円（昨年同）。
- 25日 ○エジプト・イスラエル平和条約（1979年3月）に基づきシナイ半島がエジプトに全面返還。
- 韓国南部で警官による銃器乱射事件発生。55人死亡、37人負傷。
- 中国の桂林付近で中国民航機墜落。乗員乗客112人全員死亡。
- 28日 ○道内水面漁場管理委員会、4年ぶりに支笏湖のチップ釣りの解禁を正式決定。
- 30日 ○札幌地裁、北炭夕張炭鉱の会社更生手続開始を決定。管財人に大沢誠一氏（日本石炭協会副会長）を選任。

5 月 の メ モ

- 3日 ○英国とアルゼンチンとのフォークランド諸島紛争の戦火拡大、双方の軍艦沈没（3日、5日）。
- 8日 ○中国・四川省のミニヤコンカ峰で千葉県山岳会隊の2人が遭難、うち1人生還（21日）。
- 10日 ○気象庁、降水確率予報の全国実施（7月1日から）を発表。
- 「国連ナイロビ環境会議」、ケニアの首都ナイロビで開催。日本をはじめ約110カ国の代表が参加。（～17日）
- 14日 ○厚生省、加工食品の酸化防止剤・BHAと臭素酸カリウムの発ガン性に関連し、大幅規制（6月下旬から）を決定。
- モスクワでの貝殻島周辺コンブ協定交渉妥結。操業期間は6月1日～9月30日、入漁料・漁船隻数は据え置き。
- 15日 ○沖縄本土復帰10周年式典、政府、沖縄県主催で東京と現地でそれぞれ挙行。
- 17日 ○第2次臨調第4部会、3公社改革と特殊法人の改善方策についての部会報告をまとめ調査会に提出。
- 19日 ○第96通常国会、衆院本会議で94日間的大幅会期延長を可決。
- 20日 ○韓国の全閣僚、巨額手形詐欺事件などに

開連し、大統領に辞表提出。11人が更迭。

- 23日 ○核兵器廃絶と軍縮を求める東京行動（市民集会）開催、40万人が参加。
- 24日 ○本道と東北を主とした陸、海、空3自衛隊の実動演習開始。（～26日）
- 27日 ○政府、貿易摩擦対策としての市場開放策（第2弾）を発表。輸入検査手続改善、関税率引き下げ、輸入制限の緩和など8項目。
- 29日 ○第2次臨調第1部会、基本答申の総論となる行政改革の理念と外交・防衛など重要行政施策10項目に関する部会報告をまとめ調査会に提出。
- 30日 ○フランス政府、使用済み核燃料の再処理で出る放射性廃棄物を日本など当該国への返還を決定。
- 31日 ○第2臨調第2部会、中央省庁の統廃合案などの部会報告をまとめ調査会に提出。「道開発庁と沖縄開発庁の国土庁統合」を明記。

6月のメモ

- 1日 ○広島高裁、殉職自衛官合祀拒否訴訟の控訴審判決で「自衛隊の行為は憲法上の政教分離規定に違反する」として国の控訴を棄却。
- 3日 ○国鉄美幸線沿線の3町長ら、同線の全線開通を前提に、第3セクター方式による存続を国鉄総裁らに正式申し入れ。
- 4日 ○第8回先進国首脳会議（ベルサイユ・サミット）、パリで開催。（～6日まで）
- 7日 ○第2回国連軍縮特別総会、4年ぶりにニューヨークの国連本部で開催。日程は7月9日までの5週間。
- 8日 ○東京地裁、ロッキード事件「全日空ルート」の判決公判で、被告の橋本元運輸相と佐藤元運輸政務次官に執行猶予付き有罪判決を言い渡した。
- 10日 ○国連人口活動基金、20世紀末の世界人口は約61億人との見通しを発表。
- 11日 ○国鉄石北本線で特急列車の脱線事故発生。重軽傷者は22人。
- 12日 ○ブラジルのタバティンガ空港で、地元の航空旅客機が管制塔に激突。乗員、乗客44人全員死亡。
○'82北海道博覧会開幕。期間は8月22日までの72日間。
○サウジアラビアのハリド国王逝去（69歳）。ファハド皇太子が即位。
- 14日 ○外務省、新駐道大使に岡田富美也氏（前ヨルダン大使）を発令。
- 17日 ○アルゼンチンのガルチェリ大統領、フォークランド紛争の敗北で引責辞任。
- 18日 ○東京地裁、一連の連合赤軍事件の判決公判で、3被告に死刑又は懲役20年の判決を言い渡した。
○東京・一ツ橋の日教組本部で短銃発射事件発生。右翼団体の犯人を逮捕(21日)。
○公正取引委員会、道内製パンメーカー18社に、昨年6月の食パン値上げは価格協定による不当な取引制限であるとして、協定排除、一般公表を勧告。
- 22日 ○米司法省、コンピューターメーカー米I

BM社の情報入手事件で、日本の大手企業の社員ら6人の逮捕などを発表。

- 23日** ○東北新幹線（大宮―盛岡間）開業。
- 24日** ○米価審議会、57年産小麦、大麦、はだか麦の政府買い入れ価格据え置きを答申。
○函館市議会、ロッキード裁判で有罪判決の佐藤代議士の辞職を求める決議を可決。
- 25日** ○ヘイグ米国務長官の辞任、後任にジョージ・シュルツ氏。
- 26日** ○第2回定例道議会開会
○厚生省、「56年人口動態の概況」を発表。死因はガンが最も多く、死亡総数の約23パーセント。
○北電と岩内郡漁協との泊発電所建設に伴う漁業補償交渉、補償金額23億5,000万円で合意。
- 27日** ○米宇宙連絡船「コロンビア」、ケネディ宇宙センターから打ち上げ。テスト飛行最終便。
- 28日** ○日教組定期大会、長崎県島原市で5会場に分散して4日間の日程で開催。
- 29日** ○小樽市議会、「核兵器廃絶平和都市宣言」案を可決。道内では初めて。
- 30日** ○イタリアの航空旅客機、インドのニューデリー離陸直後にハイジャックされ、バンコクに到着。日本人乗客は63人。

北海道議会時報 第34巻第4号

昭和57年9月20日発行

編集 北海道議会議務局調査課

発行 北海道議会議務局

北海道議会時報第34巻第4号(昭和57年)